

環境教育を通じた環境の人づくり

1 環境学習の意欲増進

1 人材の育成と活用

① 環境アドバイザー派遣事業

環境についての理解と認識を深め、自主的な環境保全活動を推進することを目的として、学校や中小企業、住民団体等が主催する環境問題・環境保全に関する講演会・学習会等に、県が選任する「環境アドバイザー」を派遣しています。平成22年度は、県内の学識経験者を環境アドバイザーとして委嘱し、50回の派遣を行いました。

② 将来の科学技術を担う人材の育成

環境について興味を持ち、理解を深めていくためには、基礎となる科学技術に関する知識が重要です。小・中学校より、将来の科学技術を担う人材の素地づくりとしての「科学する心」の醸成を図る科学教育を推進しています。小・中学生を対象としたサイエンス・ナビゲーター派遣事業や夏休み親子科学教室において、自然エネルギーやリサイクルなどをテーマとした科学教室を実施し、本県の将来の科学技術を担う人材の育成を図っています。

また、山形県産業科学館では、平成22年度、2階フロアを「暮らし・産業と環境」をテーマにリニューアルしました。環境に関する様々な課題や、環境と暮らしや産業の関わりについて理解する体験型学習の場となっています。



2 環境学習拠点機能の充実

① 山形県環境学習支援団体認定制度

県内で環境学習施設見学や環境学習講座等を通じて環境学習を支援している民間団体を認定するもので、県民に質の高い環境学習の機会の提供を行うとともに、団体の実施する環境学習への参加により、環境保全の意欲増進を図ることを目的としています。

平成22年度は次の3団体を認定しました。

特定非営利活動法人環境J-ネットやまがた(南陽市)

自然界に存在する有用微生物を組み合わせ、環境に優しいEM(有用微生物群)の日常生活での活用などを学習します。

株式会社シンドー(鶴岡市)

廃プラスチックを再生エネルギーに変える実験を通して地球温暖化対策、ごみの分別、再利用等の方法を学習します。

特定非営利活動法人みなと研究会(酒田市)

海でのハタハタ保全活動や河川での淡水魚生態調査などの体験学習を通じ、自然保護を学習します。

② 情報の提供

環境学習拠点施設の一つである、山形県環境科学研究センターにおいて、環境保全に関する相談や環境に関する図書等の貸し出しを行っています。また、環境保全等の情報を広く提供するため、「やまがたけんの環境情報」を発行しています。



3 環境保全活動の顕彰

① 環境やまがた大賞

環境の保全と創造に関し、特に顕著な功績のあった個人又は団体(グループ、NPO、学校等)を顕彰し、広く公表することにより県民・団体による主体的な環境保全活動を促進することを目的としています。

県内に居住する個人又は県内に主たる活動の拠点を有する団体を対象とし、平成22年度は次の3団体を顕彰しました。

米沢生物愛好会(米沢市)

「活動による地域への貢献」を目標とし、自然観察活動の成果を会報発刊及び展示会により広く市民に提供するとともに、「米沢市うご垣」の調査・保全活動は地域振興のきっかけともなっており、地域の自然保護意識の啓発と取組みの推進に長く貢献しています。



山形県立東根工業高等学校 ものづくり委員会(東根市)

手作りの太陽光パネルを製作し、生徒自身がモンゴルやバングラデシュへ渡航し技術提供するとともに、県内市町村や小学校においても太陽光パネル製作の実演、公開・出前講座を開催しており、新エネルギーの普及に大きく貢献しています。



工藤時雄さん(庄内町)

源氏ボタルの幼虫の飼育研究を行い、ホタル放流会を実施したり、東京の団体とホタルを通じて交流することにより、水環境保全や自然に親しむことの大切さをたくさんの子どもたちに訴え、長年にわたり環境学習を支援しています。

